

国語プリント No. ()

()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

技術者の心 よみとり

本日の課題

各班で分らないところを出し合い、それを分かるように読み合う。

仲間で議論してもどうしても分からないところは、文字化して片桐に知らせてください。

既存の班でこなうが、メンバーは固定しない。学習効率が最も上がりそうな人とおこなうこと。



《例として次の表現を挙げておきます。》

157 L3 「そしてこのことが、人が技術を持っていることの根拠でもあると考えてよい。」

157 L16 「それを支配している原則は、法則の適用ではなくむしろ法則への攻撃と言った方がよい。」

158 L8 「もし金属とガラスについて前記の三つの性質を考えたとしたら、極めて自然に、組み合わせによって八種類の物質についての概念を形成したはずである。」

158 L11 「少なからぬ対象を目の前にして、それらを体験した私たちは、それを概念として整理し、その概念の組み合わせ、さらにもっと広義の演算によって、実に豊かな世界を作っている。」

159 L10 「半チップを心の中に想定したことを契機として生み出されているのであって、集積度を上げる理論ないし法則がまずあって、それを意識的に適用しているというようなものではない。」

160 L6 「アリスとロボットをくらべるとき、自然法則が強い拘束となる点がロボットをアリスと区別する唯一の点なのである。」

160 L12 「文学作品も技術的産物も、すべて人の心が生み出すものであって、基本的に自由であり、何を生み出すかの外在的な指導原理は存在しない。存在するのは拘束条件だけである。」

メモ